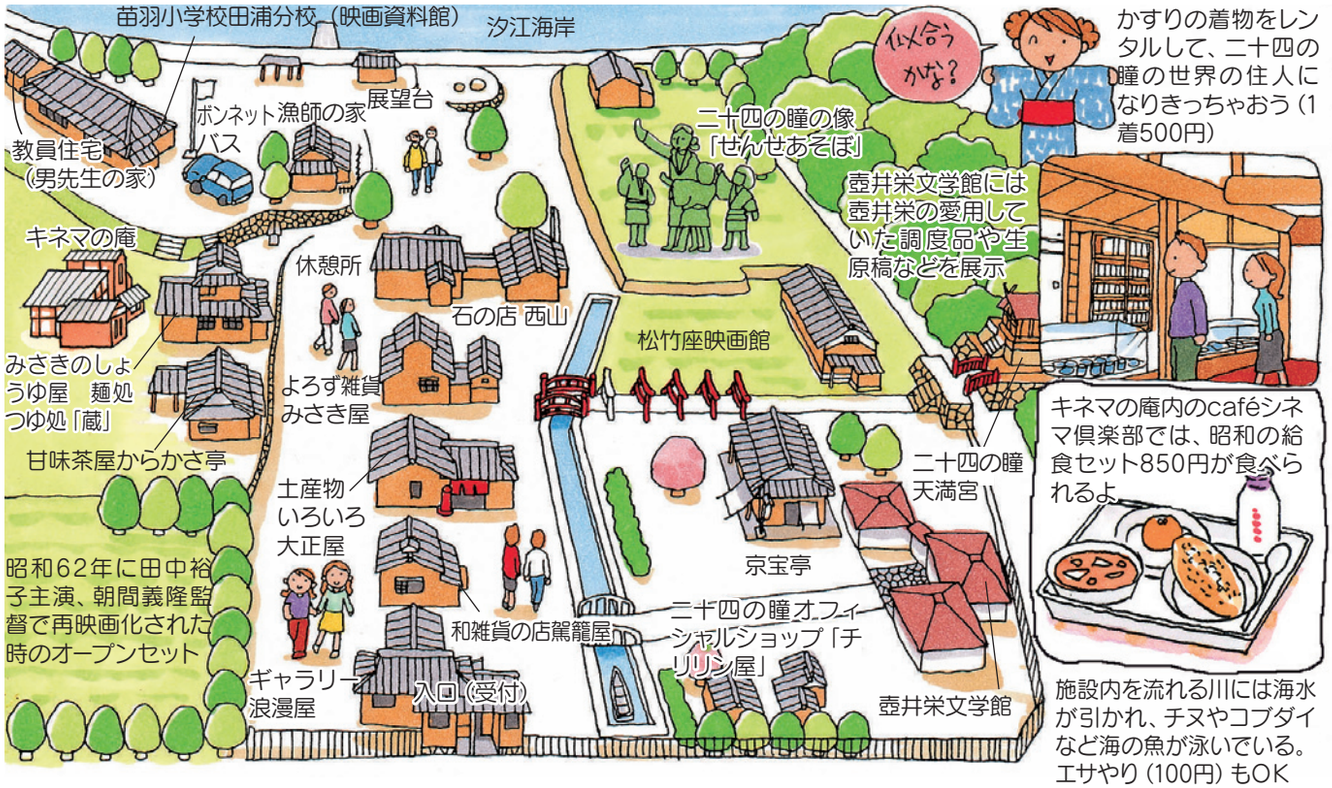
小説と映画の世界にタイムトリップ!

●にじゅうしのひとみえいがむら

二十四の瞳映画村

昭和初期の民家や珍しいボンネットバス、駄菓子屋など、郷愁を誘う世界が広がるここは、まさに小豆島の文化遺産。島を舞台にした壺井栄の名作「二十四の瞳」が2度目に映画化された時のオープンセットを保存公開している。二十四の瞳が常時上映されているミニシアター松竹座や壺井栄文学館のほか、近くには田浦尋常小学校が岬の分教場として保存されている。平成18年11月にはキネマの殿堂「キネマの庵(いおり)」もオープン。



一番人気 分教場の小さな机、椅子に座ってあの日の自分に再会してみては?

予算は?

岬の分教場とのセット券（大人790円、小人340円）がお得。お土産代も用意を。

食事は?

キネマの庵の中のcaféシネマ倶楽部では、レトロな雰囲気の中で食事やコーヒーが楽しめる。

トイレは?

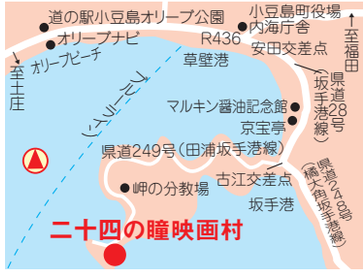
園内に3カ所。キネマの庵内トイレと文学館前のトイレは、いずれもベビーシート付でバリアフリー仕様。

足ネタ情報

キネマの殿堂「キネマの庵（いおり）」は日本映画黄金期と言われる1950年代が甦るギャラリー。「羅生門」や「二十四の瞳」などの名作が、映像や写真で展示公開されている。ぜひ足を運んでみて（入場無料）。

ちょこっと寄り道

映画村から700m手前、岬の分教場の前にある二十四の瞳館では、小豆島名産のオリーブや醤油製品ほかお土産がずらりと並ぶ。「なつかしソフト」「黒胡麻ソフト」（各250円）はぜひお試しあれ。

インフォメーション

URL／http://www.24hitomi.or.jp 住所／小豆郡小豆島町田浦 電話／☎0879-82-2455 交通／高松港からフェリー（内海フェリー☎82-1080）で草壁港へ、草壁港から坂手・田ノ浦映画村行きバスで約30分、終点田ノ浦映画村下車すぐ 車／草壁港から国道436号を東へ。安田交差点を直進し県道28号、古江交差点を越え県道249号に入り西へ。百十四銀行前、県道28号に標識あり。草壁港から約20分 駐車場／あり（150台）無料 入村時間／9時～17時 休村日／なし 入村料／大人（中学生以上）700円、小人（小学生）300円